第11回若手小児腎臓医のためのパワーアップセミナー

対象　小児腎臓医を目指す小児科医

開催日時　平成30年10月13日（土）～ 14日（日）

会場　佐賀市文化交流プラザ「交流センター」
佐賀市白山2丁目7-1　エスプラッツ3F　TEL / 0952-40-0560

参加費　25,000円（宿泊費・懇親会費含む）
10月13日の宿泊施設は事務局で用意します

申し込み期間　7月2日～7月20日

企画　日本小児腎臓病学会教育委員会

【応募の要領】

本紙裏もしくは小児腎臓病学会HPに掲載されています「参加者の心得」をご覧いただき、チュートリアルの進め方、特に事前学習の意味を理解してください。次の①～④の開講分野のなかから、第一希望・第二希望を２つ決めて事務局メールにご連絡ください。

1) ネフローゼ症候群　3) 慢性腎不全
2) 腎炎　4) 水電解質・尿細管疾患

本セミナーは原則先着順ですが、これまでの参加歴も参考にします。同じ専門を目指す同年代医師や先輩医師と知り合う機会です。小児腎臓医としての経験年数は不問です。情熱と向上心のある若手の方を歓迎します！

受講の流れ	7月下旬	グループ分け、メーリングリスト作成 担当シナリオ配布、事前学習開始
	10月上旬	事前学習終了。各シナリオ配布
	セミナー1日目	チュートリアル学習、発表準備、講演1～3、懇親会
	セミナー2日目	プレゼンテーション＆ディスカッション、講演4

【連絡先】事務局にメールにて申し込みください。＊ただし定員になり次第募集は終了します。

第11回実行委員長　大塚泰史（佐賀大学医学部小児科）
事務局：大塚泰史 ootsuka2@cc.saga-u.ac.jp

日本最古のドライドック三重津海軍所　公益財団法人鍋島報效会 所蔵

【教育講演】

中西浩一（琉球大学大学院医学研究科育成医学講座）
野口　満（佐賀大学医学部泌尿器科）
青木茂久（佐賀大学医学部臨床病態病理学分野）
白髪宏司（白髪胃腸科内科小児科 ）

【チューター】

西山　慶（九州大学）
田中征治（久留米大学）
白川利彦（長崎大学）
今村秀明（宮崎大学）
藤丸季可（大阪市立総合医療センター）
原田涼子（都立総合小児医療センター）
松村壮史（神奈川県立こども医療センター）
石森真吾（加古川中央市民病院）

平成30年度日本小児腎臓病学会パワーアップセミナー参加希望者へ

本セミナーは、日本小児腎臓病学会教育委員会が、若手小児腎臓医の育成プログラムの一環として年に一度、一泊二日で全国各地にて開催しています。今回11回目は、維新150年や熱気球で盛況な佐賀です。講義形式のセミナーでは、“小児腎が分かる”ということはありません。そこで、実践的な症例から多くの問題を抽出しながら自主的に学んでいくという「チュートリアル形成」を行います。これをより効果的にするためには、メールを活用した事前学習を十分におこなうことが必要です。この事前学習により、自分のレベルに合わせた勉強の進め方ができますので、小児腎としての経験年数は参加条件にしていません。学習意欲さえあれば経験値が少なくても、セミナーには十分キャッチアップできると思います。

このセミナーには、以下のようなメリットがあります

1. ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎不全、水電解質・尿細管疾患の４つのうちから自分の希望で受講科目を選択できます（場合によっては第二希望になることもあります）。
2. 教育委員会で作成した良質の症例のシナリオに沿って、チューターと相談しながら、自分のペースで学習を進めることができます。
3. 少数で構成されるグループ学習を通じて、いろいろな経験やレベルの小児腎臓医と交流し、相互に学ぶことができます。
4. 小児腎臓医として必要なスキルに密接に関連する教育講演を受けることができます。
5. 懇親会などを通じて、学会メンバーと縦横のつながりを持つことができます。

このセミナー受講を希望する方に認識していただきたい点　「参加者の心得」

本セミナーの基本は自主学習であるため、事前学習に意欲的であることが必須です。チューターによる効果的な学習サポートは、シナリオに沿って計画に行いますので、受講者はメールへのレスポンス、レポート提出期限の厳守をお願いいたします。セミナー受講に関しては、チューターや講師は基本的にボランティアで参加します。また、会場手配は担当施設の学会員があたってくれます。運営資金は日本小児腎臓病学会から支援されていますが十分でなく、また参加費は抑えたいと考えておりますので、多少の不便などあるかもしれません。この点もご理解いただきたいと思います。若手の意欲のある先生方と、小児腎臓学の大切さ、面白さを分かち合い、実りあるセミナーにしてきたいと思います。奮ってご応募ください！

日本小児腎臓病学会教育委員会委員長　中西浩一

日本で最初の洋式反射炉

公益財団法人鍋島報效会 所蔵